

# 令和8年度 学力向上のための重点プラン【小学校】 新宿区立市谷小学校

## ■ 学校の共通目標

授業作り	重 点	身に付けた知識・技能を活用し、よく考えやりぬく力や、学力のさらなる向上を図る。
環境作り		児童が目的意識と相手意識を明確にした活動をするための学習環境を整備する。

## ■ 学年の取組について

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>・話をよく聞いて行動できるようにする。</li> <li>・基本的な学習習慣を身に付けられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①相手意識・目的意識をもたせるための授業計画・実施・継続的な支援及び適宜言葉かけ</li> <li>②掲示の活用</li> </ul>
2 学 年	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との交流を通じて学習の理解を深めることができるようにする。</li> <li>・既習の漢字を使って、文章を書くことができるようにする。</li> <li>・九九の定着を図る。</li> <li>・学習規律を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①スモールステップでの取組</li> <li>②交流の場の設定</li> <li>③文を作る活動の定期的な実施</li> <li>④相手意識、目的意識をもたせるための授業計画・実施</li> <li>⑤九九検定の実施</li> </ul>
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区学力定着度調査の結果、国語、算数ともに、区平均を上回っている。</li> <li>・国語「話すこと・聞くこと」の領域では、相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道立て考えることが課題である。</li> <li>・算数の応用の分野についての理解度が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が何を伝えたいのかに気を付けて話を聞くことができるようにする。</li> <li>・話の中身が聞き取れるように聞く力を育てる。</li> <li>・九九を含む基礎計算の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①読書活動の充実</li> <li>②日常的にスピーチ</li> <li>③計算の反復練習</li> <li>④九九の練習</li> <li>⑤デジタルドリルの積極的な活用</li> <li>⑥対話的な学びを重視した授業改善</li> </ul>
4 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区学力定着度調査の結果、国語、算数ともに、区平均を上回っている。</li> <li>・国語では、説明文や物語文の要点をつかむ力や、段落ごとの内容把握に課題がある。</li> <li>・算数において、基礎、応用ともによく理解できている。</li> <li>・一方で、わり算の内容でのつまづきが見られたり、文章題の解釈に課題のある児童が多い。</li> <li>・一人ひとりの学びの定着に個人差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落ごとの要点を整理し、内容の構造をとらえて読む力を育てる。</li> <li>・場面を具体的に想像しながら自分の考えを表現できる力を伸ばす。</li> <li>・算数の文章題において、文章の意味がしっくり理解できているか確認する場面を設ける。</li> <li>・数の関係を図や式でとらえ、筋道立てて考える力を高める。</li> <li>・個に応じた支援と振り返りで確かな理解につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルドリルを活用し、学習履歴から個別課題を設定</li> <li>②説明文・物語文の場面ごとの要約や読み返しの指導</li> <li>③図や図式を使った問題解決の場面づくり</li> <li>④わり算の学びに対し、具体物や場面設定で理解を支援</li> <li>⑤ノート・テスト・発言・デジタルドリルから理解度を見取り、個別指導の充実を図る</li> <li>⑥対話的な学びを重視した授業改善</li> </ul>

<p>5 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区学力定着度調査の結果、国語、算数ともに、区平均を上回っている。</li> <li>・特に、国語の「書くこと」と、算数の「データ活用」についてよく理解している。</li> <li>・算数の応用問題に対する理解が不十分である部分があった。応用力の向上が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを筋道立てて説明できる力を伸ばしていく。</li> <li>・文章構成を理解し、内容を正確に読み取る力の向上を図る。</li> <li>・算数では、応用問題にも取り組む機会を増やしていくことで、応用する力を伸ばしていく。</li> <li>・自分の考えをまとめ相手に分かりやすく伝える力を伸ばす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①取り組ませる応用問題の内容の精選と、機会の確保</li> <li>②意見交流の場の設定</li> <li>③図・表・言葉を用いて考えを可視化する活動の設定</li> <li>④単元を通した振り返りカードの活用</li> <li>⑤対話的な学びを重視した授業改善</li> </ul>
<p>6 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区学力定着度調査の結果、国語、算数ともに区平均を上回っている。</li> <li>・特に、国語の「話すこと・聞くこと」についてよく理解している。</li> <li>・国語の「書くこと」の分野に苦手意識が見られた。</li> <li>・算数では、既習事項を応用する力もよく身に付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文の学習以外でも、書く機会を増やし力を伸ばしていく。</li> <li>・相手意識、話す目的などを明確にして意見交流する時間をとったり、発表する時間を積極的にとったりすることで、話す力・聞く力を伸ばしていく。</li> <li>・算数では、自分の考えを説明する力を伸ばしていく。</li> <li>・算数では、引き続き応用問題にも取り組む機会を確保することで、応用力を伸ばしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文章を書く機会を多く設定</li> <li>②ペアやグループで自分の考えを説明する時間の充実</li> <li>③自分の考えだけでなく、友達の考えを説明する機会の確保</li> <li>④自己調整力向上のための自由進度学習の実施</li> <li>⑤対話的な学びを重視した授業改善</li> </ul>